

大原野池に新しい生命の誕生

今年4月に川永野町にオープンした大原野池公園に、カルガモの親子が姿を現しました。

近所に住む楮山ひかるさんが日課としている公園の散歩中に、公園管理の方から卵を温める親鳥を発見したよと声を掛けられました。

それから、子どもたちと毎日観察していたところ、



9羽のかわいいひな鳥が誕生。その泳ぐ姿などが愛らしいと地域の話題になっていました。

残念ながら、数日後にカルガモ親子は、引っ越しをしたのか、今は見ることができなくなってしまいました。楮山さんは「また来年、ひな鳥たちが帰ってくるのを楽しみにしようと思います」と話してくれました。

3自治体共同マスク輸入引渡式

5月に薩摩国広域輸出促進協議会が阿久根市・日置市・本市で設置されたことを受け、6月3日(水)新型コロナウイルス感染症対策として、マスク72万枚(本市50万枚)を共同輸入し、その引渡式が行われました。(写真左:阿久根市長、写真右:日置市長)

本協議会は、人口減による国内市場の縮小を視野に、市内産品などの新たな販路として海外市場への展開を見据え実施されたものです。



*撮影のときだけマスクを外しています。

難関突破 全経簿記上級の合格

川内商工高校3年の松田大輝さん(高江町)が、今年2月に行われた全国経理教育協会簿記能力検定上級に合格率15.27%という難関を突破し、見事合格。同校の簿記同好会に所属し、県内で唯一の合格者となった松田さんは、この合格で得た税理士試験の受験資格を手に将来の夢である税理士を目指して、さらに勉学に励んでいくと話されました。



*撮影のときだけマスクを外しています。

県文化財に指定「入来神舞」

4月28日(火)、入来町の伝統行事「入来神舞」が県無形民俗文化財に指定され、6月5日(金)に市役所本庁で藤田芳昭教育長(写真右)から入来神舞保存会の是枝政文会長(写真左)へ指定証書の伝達が行われました。入来神舞は、戦後復活して以降、大宮神社の例祭(11月23日と大みそか)で50年近く絶えず奉納され続けてきたものです。



Good for Communication! 英語の授業でフェイスシールドを活用

市内の小・中・義務教育学校では、ALT(外国語指導助手)やEST(小学校英語指導支援員)がフェイスシールドを使用して授業を行っています。これは、新型コロナウイルス感染症対策をしながら、発音練習やコミュニケーション活動のために、口元や表情が見えるよう配慮したものです。



▲川内中央中学校での授業の様子

「まちの話題」は、市民の皆さんから情報提供をいただき、身近な話題を掲載しています。ぜひ投稿ください。

ななふみ

7.23災害から14年



編集/薩摩川内市消防局予防課 <http://www.satsumasendai.lg.jp>

薩摩川内市消防局

検索

平成18年7月19日から23日にかけて、梅雨前線の活動が活発化し、薩摩地方北部を中心に記録的な大雨となりました。

鹿児島県北部を流れる川内川の総雨量は、多いところで1,000mmを超え、この雨量は全国平均の年間365日に降る雨の約70%が5日間で降るといふ猛烈な雨でありました。約5万人に避難勧告が発令され、死者5名、負傷者9名、浸水家屋2,347戸、浸水面積は2,777haに及び、薩摩川内市久住町の久住橋が崩壊するなどの甚大な被害が発生しました。

この水害は「7.23(ななふみ)災害」と呼ばれ、14年の月日が経とうとしています。近年でも、梅雨前線、台風、異常気象などにより、全国各地で自然災害が頻発しており、7.23災害のような水害が再び、いつ発生するかわかりません。今一度、災害への心構えや備えをしておきましょう。



自然災害から身を守るために今できること!!

防災について家族で話し合おう

- ①家族一人一人の役割分担を確認する。
- ②家屋内外の危険箇所を確認して、補強などの対策をする。
- ③非常持ち出し品を確認する。
- ④緊急時の連絡方法や、避難場所を確認する。



【非常持ち出し品】

- 懐中電灯
- 非常食・水
- 携帯ラジオ
- 貴重品
- 救急薬品・常備薬
- お薬手帳 など



避難ルートを歩いてみよう

実際に避難所まで歩いてみて、危険箇所を通らないルートを確認しておきましょう。また避難の際は、非常持ち出し品はリュックなど、両手を使えるものを用意し、なるべく夜の暗い時間帯の避難をせず、早めの避難を心掛けましょう。

事前に防災マップに目を通し、あらかじめ自宅周辺の危険箇所を把握して、**災害を想定しておく**ことも大切です。



薩摩川内市消防局1階の防災研修センターにて、**暴風雨や地震、煙などの模擬体験**ができます! 災害の恐さを体感し、防災知識を養いましょう!



防災マップを活用しましょう!



救急隊からのお知らせ

自分で水分補給ができない

熱中症 ~このような症状が出たら救急車の要請を!~

脱力感や倦怠感が強く、動けない場合や意識がない場合

全身のけいれんがある

令和2年度全国統一防火標語 『 その火事を 防ぐあなたに 金メダル 』